

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 木津川市立上狛小学校 】

1 実践テーマ	【 I・III 】
2 実施対象者	上狛小学校 4年生（25名） 6年生（35名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間）
4 目標 (ねらい)	(1) パラリンピックで行われる競技を体験することで障害者スポーツへの興味・関心を育む。  (2) 障害のある人とともに活動することで、障害のある人たちへの理解を深め、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会をつくるためにできることを考える。
5 取組内容	<p>(1) 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① パラリンピックについて調べる。</li> <li>② パラリンピック種目について知る。</li> <li>③ ボッチャの試合形式やルールについて知る。</li> </ul> <p>(2) ボッチャ体験学習 &lt;平成30年11月29日（木）&gt; 講師：一般社団法人 日本ボッチャ協会理事 片岡 正教氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ボッチャについてのお話</li> <li>② ボッチャの歴史やルールなどについて知る。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③ ボッチャ体験 グループに分かれてボッチャをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

	<p>(3) 事後学習  ① ボッチャをやってみて感じたことや考えたことを話し合う。  ② 感じたことなどを感想にまとめる。</p> <p>(4) オリンピック・パラリンピック掲示板  ① オリンピック・パラリンピックの歴史について掲示する。  ② 資料・種目や写真等を掲示する。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) ボッチャについて調べたり、実際にやってみたりすることで、その競技を身近に感じることができた。</p> <p>(2) ボッチャは、チームのメンバー同士が互いのことを考えながら競技を行うことができ、一人一人が大切にされすべての子が活躍できる場もてた。</p> <p>(3) ボッチャを通して、多くの人と交流したいという気持ちをもつことができた。</p> <p>(4) ボッチャ体験学習の振り返りを行い、ボッチャを学校で広め、他の学年とも交流することができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1) ボッチャのチームに来校していただくことはできなかったが、事前学習においてパラリンピックで競技をしている人たちの姿を思い描けるよう、競技の様子画像を数多く提示するようにした。</p> <p>(2) 他の事業と連携させて、パラリンピックの意義や障害者理解を深める取組を継続させた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>(1) 本年度は、内容の検討や指導者等との調整で時間を要してしまい開催時期が遅くなったので、来年度以降は、適切な開催時期に実施できるようにする。</p> <p>(2) 教職員研修を行うなどして、事前学習、事後学習についても計画的に進められるようにする。</p> <p>(3) パラリンピックに向けて、保護者や地域に向けて幅広く呼びかけることで、普及につながる。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>(1) 来年度も、ボッチャを学校で広め、パラリンピックについての理解学習を進める予定である。</p> <p>(2) 可能なら、他校の児童等とボッチャを通して交流したい。</p>